

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 岱明の里
(ユニット名)	北棟
所在地 (県・市町村名)	熊本県玉名市岱明町高道1090-1
記入者名 (管理者)	西口俊之
記入日	平成 19 年 10 月 30 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意味を職員全員が理解し、住み慣れた地域の中での生活、関係が継続できることを誰もがわかりやすい理念をつくりました	○	現在、近隣の方のご入居は少ないのですが、将来的には地域の方たちを支えるグループホームでありたいと思います
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングにおいて理念の唱和を行っています		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族の方には、契約時・家族会等、地域の方々には運営推進会議・広報誌等により説明し、理解していただきたいと思います		
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ご入居者との散歩の時、またホーム前の道路を小中学生などが登下校時には挨拶をかわしています		
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事、夏祭りや福祉祭り、また小学校の運動会など積極的に参加しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症を地域の方々に幅広く理解していただけるように、各種行事にも積極的に参加しています。認知症を理解する教室・講話も計画しています	○	10月28日には認知症の方への関わりというテーマで地域の方、関係者120名の参加をいただき講演会を開催しました
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は毎年全職員で評価を行い、全職員がケアの質の向上に努めています。外部評価の結果についても全職員で検討し改善に向けて取り組んでいます		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で検討した項目の経過報告を行い、また外部評価においてもこれまでの評価結果をふまえた取り組みの内容報告を行い、アドバイスを受けています		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者との関係作りはできていると思います。運営推進会議以外にもいろいろなことで相談にのっていただいたり、行事ごとの報告も行っています		たまに担当者の方から、相談の連絡があったりもします
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護に関する制度の理解については全職員、勉強不足、理解不足だと思います		今後年間勉強会計画に盛り込み、まずは充分理解したいと思います
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	すべての職員が正しく認識しており、虐待のないケアを行っています		今後ミーティング等を通じて情報交換し、虐待の防止に努めていきたいと思っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、充分時間をとって利用料・起こりうるリスク・重度化・看取りについての対応・考え方などを説明し、不安・疑問点も充分納得していただき同意を得ています	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満、苦情に対しては皆で話し合い、速やかに回答できるよう心がけていますが、外部者への報告は充分にはできていないと思われま	○ ご本人の言動、その思いを職員が察し、情報交換しあうように努めています。家族会同様、ご利用者の方々にもご利用者による自治会等が今後設置でき意見等が反映されたいと思います
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年4回の機関紙の発行や面会時において健康状態など含め、ご家族には報告をしています	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の方には、常に家族会・各種行事の際問いかけ、何でも言ってもらえるようなホーム作りをめざしています。出された意見・苦情等は速やかに話し合い対応策をご家族へ報告しています	ご家族から出された意見・要望などはミーティングで話し合い、反映させるようにしています
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度は全体会議を行って、現場職員の考えや意見を聞き反映させています	運営者・管理者に職員の不平・不満は言いにくいので、充分把握できていないかもしれません
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご入居者の状態やペースにあわせた職員の勤務の調整に努めています	年毎のご利用者の重度化に伴い、夜はアルバイトを含む二人体制にしたり、昼間の応援体制もご利用者の状況にあわせて行っています
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ご利用者と職員の馴染みの関係は必要不可欠なものです。やむを得ず離職する場合は、ご家族にもご利用者にもスムーズに受け入れていただけるよう報告し、紹介もきちんとおこなっています	本年度は結婚・出産・体調等の理由で職員の入れ替えが生まれました。しかし、そのことによるご利用者の不安・ダメージを最小限に抑えるため雇い入れる時期を早め、ご利用者に受け入れて頂けるように配慮しました

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	事業所外の研修には積極的に参加し、また研修に参加した職員は報告書を作成し、他職員への報告を行い、全職員が共有できるようにしています	○	今後職場内研修・勉強会の充実も必要と思います。当ホームにあった独自の研修制度も充実させたいと思います
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	玉名郡市13グループホームが加盟による活動を行っています。今年度は当ホームは世話役ということもあり2ヶ月に一度の研修会を企画し、ホーム相互間の交流ネットワーク作りを力を入れています		相互研修は積極的にやっています。5つのホームに研修にもいきました
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	常に職員の顔色・精神状態に気を配りできるだけ精神的なストレスをためない様、発散できる場面、機会をつくっています。(食事会・飲み会)ストレスのたまらない明るい職場作りを目指しています		他グループホーム職員との月に2～3回程度の体を動かしてのストレス発散のビーチバレーを行う予定です
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	運営者自ら現場に立ち寄り、ご利用者、職員とのコミュニケーションを図り、職員個々の頑張りは把握しています		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ご入居者の不安、寂しさ等含めて、職員との会話にて対応できるよう心がけています		常にご本人の状態の把握ができるように努め、ご本人に受け入れてもらえるよう、信頼関係づくりに努めたいと思っています
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ご家族が来苑された時には、ご入居者の健康状態・ホーム内での暮らしぶりをご報告し、またご意見、ご要望など取り入れています		ご家族の求められるものを理解することに努めていきたいと思っています

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員で話し合い、ご家族・ご入居者の意見・要望を取り入れたサービスが提供できるよう努めています		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居室内、リビング、ご本人が好まれる居場所づくりをご家族の協力も得ながら、他のご利用者も含めて、安心感を持っていただけるよう努めています		ご本人の安心と納得が得られるように、ご家族と充分に話し合いながら努力していきたいと思っています
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	業務本位にならないよう、一緒に生活していると思っただけのよう、日々楽しんで過ごしていただけるよう心がけています	○	ご本人と共に支えあえる関係作りに努めていきたいと思っています
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時には、ご家族が感じられたご本人の様子を聞き、こちらからはホームでの近況報告することで問題点などを見つけ出しケアにいかしています		ホームとご家族との情報交換は蜜に行うことを心がけていきたいと思っています
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご入居時にご家族からできる限りの情報を頂き、その後の面会の時なども職員も一緒に話に加わるなどして、ご家族とご入居者の距離が遠くならないような支援に努めています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の面会、外出などには時間の制限は設けず、ホームでもできる限り地域への外出を心がけています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご入居者同士の関係を職員は把握しており、一緒にすごしたりするように心がけています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院をされた時など、ご家族が遠方の場合には洗濯物や食事状態の様子を見に行くなど、協力的に行っています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族のお話などから、ご本人が希望されていることを把握できるようにし、職員間で情報交換を蜜にしています		日常生活の中で、ご本人の希望、意向、またご家族の希望も含めて努力していきたいと思っています
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の面会時などに以前の生活環境のことなどお尋ねし、把握に努めています		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送りノートで全職員に伝わるように、確実に行っています		ご本人の日常生活の中で、ご希望等含めて職員間で情報交換していきたいと思っています
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご入居者の状態、生活歴、言葉、行動、ご家族の要望等ミーティングを行い、ケアに努めています		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご家族の意向、受診時のDr. の指示など含めて、状態の変化に応じた随時の見直しを行っています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意しており、日常生活、排泄状況、食事、身体的状況を記録しています		今まで以上に職員間の情報共有を徹底していきたいと思っています
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族の状況に応じて受診等には柔軟に対応しています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署指導のもと、地区消防団また近隣住民の協力も得て年1回の防災・避難訓練の実施。また、ボランティアによる慰問も積極的に受け入れています	○	年に数回各地区の民生委員の方々が慰問にこられたり、ボランティアの方々の踊りや歌などを披露していただいています
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地区の介護予防教室に参加させて頂いたり、近くの畑の野菜を自由に収穫させていただいたりしています		デイサービスセンターの炭酸カルシウム温泉を利用させていただいたり、各種設備メニューも利用させていただいています
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員さんも毎回参加して頂くようになり、アドバイス・意見など、情報交換が徐々にできりようになりました		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の同意の上かかりつけ医の変更をすることもあります。受診はご家族の同行は少なく、代行する事が多いです。受診拒否がある場合は、ご家族に受診をお願いする事もあります		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		職員全員が重度に伴う最大のケアの支援方法を理解しています
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		今後ホームの職員のターミナルに向けての、心の教育、指導もやっていかなければと思っています
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人前では目立たずさりげない介護・介助を心がけています	○ ご入居者の尊厳・秘密保持にはミーティングの中で徹底していきたくと思っています
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	穏やかな態度で寄り添い、ご本人が思いや希望を表せるような、雰囲気を作れるように配慮しています	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のリズムに配慮しながら、入浴時間・食事にかかる時間等について、ご本人なりのペースで行えるように対応しています	ご入居者の希望に添った、可能な限り気持ちを大切にすることに対応に努めています
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	いきつけの理・美容院のある方は、家族の面会時また職員同行にて一緒に外出され行かれています	ご入居者の生活習慣に合わせた支援を心がけています
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の皮むきの手伝い・献立の相談・食器を片付けていただく方とそれぞれの役割を楽しんでいただいています	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は行事の時以外に希望される方はいらっしゃいませんが、おやつ・飲み物については健康面に配慮しながらも楽しみのひとつとしていただけるような提供に心がけています	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表にて各ご入居者のパターンを把握するようにしています。またご本人の訴え時や、ご様子で排泄ではと思われた時には、トイレでの排泄を促すようにしています		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の順番・時間は決めておらず、ご本人の希望やタイミングなど状況に応じた対応をしています		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	いつでもリビングのソファで休息していただけるようにしています。夜間は、居室にて安眠していただいています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器の片付け・洗濯物の整理などご入居者にあつた仕事をお願いし、また感謝の言葉を伝えることで笑顔を見せていただいています	○	散歩・買い物など外出する機会を増やしていきたいと思っています
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で現金を持っておられる方はごく少数ですが、他の方にも買い物のお手伝いをいただく時などレジでの精算までお願いし、感覚を失われないような支援をしています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・外出時にはできるだけ希望に添うようにしています		ご入居者の状況に配慮しながら、季節を肌で感じていただけるよう戸外へ出るように努めています
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族との外出時、またホームの行事等で出かける機会を作っています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人が希望された時には、ご家族に電話しています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に面会時間は、制限しておらずいつでも訪問していただけるようにしています。また、職員はお客様を笑顔でお迎えし、リビングや居室でゆっくり過ごして頂けるよう配慮しています		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が認識しており、身体拘束のないケアに心がけています		禁止となる具体的な行為については、日頃のミーティングを通じて、共有認識を持っています
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ご入居者の方が、外に出たいという思いを尊重し、止めるのではなく一緒に出るように心がけています		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご本人の健康状態や行動については、職員の申し送りの徹底、ご入居者の動きを把握できるように心がけています		夜間帯はご入居者の状況を最も確認し易い位置にいて、巡視・訪室等で安全に配慮しています
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご入居者の行動パターンにより、保管・管理をするよう心がけています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ご入居者の健康状態など含めて、日々ミーティングし、情報の共有意識に心がけています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを作成し、また警備会社とのシステム等により緊急時の連絡体制をとっています	○	応急手当の勉強会の定期的な実施、また研修等にも積極的に参加していきたいと思っています
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に最低1回の防災訓練を行っています。その場合にも可能な限り、消防署・地区消防団また近隣の方の参加も得るようにし、ホームの内情を理解していただくよう努めています		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご本人の状態、行動に対するリスク、その対応についてご家族の面会時に状況報告を含め説明するようにしています	○	ご入居者の抑制のない暮らし、行動の障害を少なくする事により安全・安心な暮らしをホームの中で取り組んでいます
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の健康状態を把握し、異変等に対してバイタルチェックをし、情報を共有しています。早めの対応をし、状況によっては受診を行うこともあります		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表にて職員が薬の内容を把握できるようにしています。服薬によるご本人の変化、状態については定期受診時など随時かかりつけ医に相談しています		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多いものを食材として多く取り入れるようにしています。また、下剤を服用されている方は、状況に応じて用量を調整しています		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	ご本人の状態により見守り、介助にて歯みがき・義歯の洗浄を行っています	○	毎食後ケアには、ご入居者の状況等もあり難しいところもあるが、努力していきたいと思っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量はチェック表を作成し、確認できるようにしています。健康面から管理が必要な方には、食事量や塩分・水分摂取まで配慮できるようにしています		ご入居者の食事量・水分量などは、常に職員が意識しながら心がけるようにしています
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ご本人やご家族の同意の上、インフルエンザの予防接種を職員と一緒に受けていただいています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫内は定期的にチェックし、食材の点検またふきん、まな板等は漂白し衛生管理に心がけています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	前庭には花を植え、玄関先には花を置きやさしい雰囲気作りをしています。玄関内にはご入居者の作品を飾るなど、明るい雰囲気になるようにしています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング内にはソファでテレビを見て頂いたり、ご入居者同士で会話をされたり、また玄関ホールにもソファを置いて自由に過ごしていただけるよう、明るい雰囲気になるようにしています		リビングには冬になるとこたつを使用してお入居者同士くつろげる居場所づくりを工夫しています
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホール、廊下にも、ソファ・椅子を設置し、ご入居者同士での会話、また一人で外を眺めたりできるようなスペースを作っています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたダンスなどの居室内持ち込みなど、居心地よく過ごしていただけるように配慮しています	○	使い慣れた馴染みのものものを傍らに置いておくご入居者が居心地よく過ごしていただけるように、ご家族と相談しながら工夫していきたいと思っています
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングや居室の室温調節や換気はご入居者の状態に応じてこまめに行っています		トイレは換気扇と消臭剤で配慮しており、居室は毎朝換気を行っています
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	キッチンの流し台や洗面所の高さはご入居者の使いやすい高さになっています。トイレ・お風呂場・玄関等にはご入居者の状況を考えて手すりを配置しています		車椅子の方、歩行が不安定な方などを考慮して、通路・リビング等には不必要な物は置かないように配慮しています
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室には表札、トイレ入り口には場所を表示したり、ご入居者が混乱されないように配慮しています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダで日光浴したり、前庭には花壇があり花を楽しめるようになっています。また、畑もあり草取り、野菜作りを楽しんでいただいています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご入居者の笑顔がみられるホーム作り、寄り添うケアに努力しています。

認知症高齢者の方たちへの基本的な関わり方として欠かせないものは、心と心の触れ合いであると考えます。そのことを一番大切にするためにも全職員、基本に

戻る・原点に戻るという意識の中で、まずは全ての方への礼儀・礼節・挨拶・適切な言葉遣い・笑顔を絶やさない職員作りに力をいれています。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 岱明の里
(ユニット名)	南棟
所在地 (県・市町村名)	熊本県玉名市岱明町高道1090-1
記入者名 (管理者)	嶋村久美子
記入日	平成 19 年 10 月 31 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/> 1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	現在地域の方のご入居は少ないのですが、将来的には地域の方たちを支えるグループホームでありたいと思います
<input type="checkbox"/> 2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		
<input type="checkbox"/> 3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>		
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
<input type="checkbox"/> 5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	GH支部及び当ホーム主催での講演会を開催し、「認知症」について地域の方にも多く来ていただくことで(認知症)高齢者への理解を広げる機会としました	○	10月28日に認知症の方へのかかわりというテーマで地域の方、関係者含め120名の参加を頂き講演会を開催しました
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	自己評価は毎年職員全員で評価を行い、全職員がケアの質の向上に努めています。外部評価の結果についても全職員で検討し、改善に向けて取り組んでいます		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	運営推進会議で検討した項目の経過報告を行い、また外部評価においてもこれまでの評価結果をふまえた上で取り組み、その内容を報告し、アドバイスを受けています		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市町村担当者との関係作りはできていると思います。運営推進会議以外にもいろんなことで相談にのってもらったり、行事ごとの報告も行っています		たまに担当者から相談の連絡もあります
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	現在は、権利擁護に関する制度の理解については全職員勉強不足だと思っています		今後年間勉強計画に盛り込み、まずは充分理解に努めたいと思います
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	ミーティング等で虐待防止の理解を深め、言葉による虐待も行われることのないよう意識づけをしています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、充分時間をとって利用料、起こりうるリスク、重度化、看取りについての対応、考え方等を充分説明し、不安や疑問点も充分納得して頂くよう説明し、同意を得ています	契約時には事業所の理念・職員体制・苦情窓口等の重要事項説明書も同時に説明し、同意を得ています
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者の不安・意見等は各ユニットで話し合い解決する努力はしていますが、外部者への報告は充分にはできていないと思われま	家族会同様、ご利用者の方々にもご利用者による自治会等が今後設置でき意見等が反映されたらと思います
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご入居者の日々の暮らしや健康面について等、ご家族の面会時に近況を報告するようにしています。職員の異動については、家族会にて報告をしています	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の方々には、常に家族会、各種行事の際に問いかけ、何でも言ってもらえるようなホームづくりを目指しています。出された意見、苦情等は速やかに話し合い対応策をご家族へ報告しています	ご家族の方々と話し合いができる場面をもっともっと増やしたいと思います
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各棟のミーティング、月1回の全体会議で意見・提案を聞くようにしています。決して否定・批判はしないようにし、良い意見・要望等は即取り入れる体制はできています	運営者・管理者に職員の不平・不満は言いにくいので、充分には把握できていないかもしれません
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご利用者の状態の変化に即対応できるよう常に状態観察は行い、時間帯に応じて職員の導入できる体制はとっています	年毎のご利用者の重度化に伴い、夜は学生アルバイトも含めての2人体制にしたり昼間の応援体制もご利用者の状況に併せて行っています
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ご利用者と職員の馴染みの関係は必要不可欠なものです。やむを得ず離職する場合、ご家族にもご利用者にもスムーズに受け入れてもらえるよう報告し、新しい職員の紹介も必ず行っています	本年度は、結婚・出産・体調等の理由で職員の入れ替えが生じました。しかし、それによるご利用者の不安やダメージを最小限に抑えるためにも雇い入れる時期を早め、ご利用者に受け入れて頂く努力をしました

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外の研修には積極的に参加し、また研修に参加した職員は報告書作成、他職員への報告を行い、全職員が共有できるようにしています	○ 今後職場内研修・勉強会の充実も必要と思います。当ホームに合った独自の研修制度も充実させたいと思います
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	玉名郡市13グループホーム加盟による活動を行っています。今年は当ホームは世話役ということもあり2ヶ月に一度の研修会を企画しその他講師の先生による講演会、懇親会等企画し、ホーム相互間の交流ネットワーク作りに力を入れています	相互研修は積極的にやっています。5つのホームに研修にも行きました
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	常に職員の顔色・精神状態に気を配り、できるだけ精神的なストレスをためないよう、発散できる場面、機会をつくっています。(食事会・飲み会)ストレスのたまらない、明るい職場づくりを目指しています	他グループホーム職員との月に2～3回程度の体を動かしてのストレス発散のビーチバレーを行う予定です
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者自ら現場に立ち寄り、ご利用者、職員とのコミュニケーションを図り、職員個々の頑張りは把握しています	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	言葉だけでなく、表情や行動などからもご本人の困っている事、問題点を把握できるように努力しています	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの状況、ご家族が困っている事、希望していることなどをよく聞き、思いを受け止め、ご家族との信頼関係を築いていくようにしています	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の気持ち、状況を把握し早期に対応できるようにしています		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居室内やリビングの一定の場所等ご本人が好まれる居場所作りから、ご家族面会の協力も得ながら安心感とスタッフ、他のご利用者への馴染みの関係へと広がっていくように努力しています	○	リビングにて夜間も休まれている方がおられるので、居室にて安心して眠っていただけるように今後も努力していきたいと思っています
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご入居者と接している時、自分はどんな表情をしているか？スタッフは自問しています。業務としてではなく一緒に生活していることとして喜び楽しみなど共有していきたいと思っています		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時にはご家族から見たご本人の様子を聞き、またホームから近況を報告することで、問題点などを確認しケアに役立っています		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時に近況を報告し、ご家族との関係が保てるようにしています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族による外出や知人の面会等できるだけ可能であるよう、時間の制限をしていません。ホームでも外出の機会を作っています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご入居者同士の関係をスタッフは把握しており、状況により一緒に過ごしたり、時には距離をおく等フォローしています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院された場合(ご家族が遠方などのケース)など、洗濯物のお世話や食事の様子を見に行くなど今までも協力的に支援しています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の言葉や表情などから、またご家族の話から、ご本人が望まれていることを把握できるよう、スタッフ間で情報を共有し考え努力しています		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や趣味など資料を参考にしご本人に接しています。またご家族面会時に以前の生活の様子などお尋ねして把握に努めています		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各勤務帯間の申し送りを大切にしています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族の意向、受診時のDrの指示、ご本人の言葉や行動の様子などミーティング(モニタリング)で情報を出し合いケアの方法を考えています		ご本人・ご家族の思いをよりわかるようにしていきたいです
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行っています。変化のあった時は、その都度チームでミーティングを行い、ケア内容を変更し、経過を見ながら評価を行います		毎月のモニタリング(ミーティング含む)、3ヶ月毎にはモニタリング記録用紙を作成します。また、変化時の見直しもを行います

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経時的なケアの記録が多く、気づきやエピソードや状況の変化の記録がまだまだ少ないと思います。個別の食事量・バイタル・排泄・処置・レクリエーション参加のチェックはできていますが、計画の見直しと結びついてないところもあります	○	日々の様子、気づき等の記録を工夫していきたいと思っています
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況により必要時は定期以外にも早めの受診を行っています。ご家族の要望含め早期退院の支援を行っています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員や区長、行政等とも意見交換する場があるが、今後ボランティアの協力も得ていくようにしたいです	○	地域との接点を増やしていきたいと思っています
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地区の介護予防運動教室に参加させてもらったり、近くの畑の野菜を自由に収穫させてもらったりしています		デイサービスセンターの炭酸カルシウム温泉を利用して頂いたり、各種設備メニューも利用していただいています
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員さんが参加してくださるようになり、アドバイス・意見等情報交換が除々にできるようになりました		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人家族の同意の上、かかりつけ医の変更をすることもあります。受診はご家族の同行は少なく、代行することが多いです。受診拒否がある場合は、ご家族に受診をおねがいすることもあります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		職員全員が重度化に伴う最大のケアの支援方法を理解しています
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		今後ホームの職員のターミナルに向けての、心の教育、指導もやっていかなければと思っています
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレの声かけやおむつ交換などは小声でご本人にさりげなく声かけし配慮しています	ご利用者の尊厳や秘密保持の徹底についてミーティングの折、意識を高めるようにしていきます
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	寄り添い、ご本人が希望を表し易くなるような雰囲気を作れるよう心がけるようにしています。内容によっては、選択性にし決定しやすいように配慮するなどしています	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	デイサービスの利用を希望される方にはご案内し、北棟へ足の向く方はそちらの棟で過ごしていただくなど、ご本人の希望・動きに合わせた対応をしています	散歩やドライブ等可能な限り、ご本人の思いを大切にされた対応を心がけています
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの理・美容店のある方などは家族の面会時に一緒に外出され行かれています	行事などにより、衣服をご本人と選んだりする支援をしています
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皮むき等の手伝いをされる方、台所に一緒に入り料理や盛り付けの手伝いをされる方がおられ、役割や楽しみとしてされています	季節の食材をメニューに取り入れ、楽しんでもらうようにしています。スタッフも同じテーブルにつき同じものを一緒に食べています
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒は行事などの時以外は希望される方も特にいらっしやいません。おやつ・飲み物については健康面について管理の必要な方にはスタッフで把握できる範囲で楽しんでいただいています	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご入居後に排泄パターン把握のため、データをとっています。またご本人の訴え時や、行動の様子から排泄と思われるときには、トイレ誘導をし、トイレでの排泄を促しています		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間、順番は決めておらず、その日のご本人の希望に対応しています。また、仲のよい方同士一緒に入られたりもします		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	いつでも居室やリビングのソファで休息していただけるようにしています。夜間居室での就寝に拒否のある方についてはリビングにマットを使用し、安眠していただいています		
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理作りや片付け、洗濯物の整理など好まれる分野の仕事をお願いし、感謝の言葉を伝える事で笑顔につながっていると思います。散歩やドライブの希望の方等には可能な限り対応しています	○	ホーム建物内の生活がほとんどであるため、戸外へ出る機会を増やしたいと思っています
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がお金を所持されている方はおられないが、外出(買い物)などにはレジの方への支払いをご本人にだけできるようお金を渡すなど支援しています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	時間帯によっては、対応できない時もあるができるだけ希望に添うようにしています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族との外出で以前よく行かれていた場所へ一緒に行かれたりされることがあります。また、入居以前から付き合いのある理・美容店等への外出をされています		季節の花・景色を見に外出したり地域の行事へ出かけています(希望される方は地元の夏祭りに夜間でかけたりもしています)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望時には、ご家族へ電話をかけています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の時間を設定せず、いつでも訪問してもらえるように配慮しています。来訪時には笑顔でお迎えし、リビングや居室にてゆっくりすごしてもらっています。お帰りになる時には、玄関でお見送りし、気持ちよくお帰りいただくよう気配りしています		ご近所から入居されてる方の奥様がほとんど毎日来訪されており、ご夫婦一緒に過ごされる時間を楽しんでおられます
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が身体拘束をしないように心がけています	○	禁止となる具体的な行為についてはミーティング内で定期的に取り上げるなど更に意識を高めるようにしたいと思っています
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・玄関には鍵をかけずいつでも出入り可能となっています。玄関から出て行かれる時には、行動を止めようとせず一緒に付添うようにしています		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	心身の状態や行動等について申し送りを確実にし、全スタッフがご入居者それぞれの動きを把握し、見守り、危険のないよう取り組んでいます		夜間は、居室が見通せる場所に位置し、2Hごとに巡視し、ご入居者の状況によっては毎時間訪室し安全に配慮しています
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご入居者の行動により保管したり、昼夜の別にて保管管理を行うようにしています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ご入居者の状態から考えられる危険や、その対応策についてミーティングしスタッフの共有意識としています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	夜勤時の緊急対応マニュアルを整備しています。警備会社提携のシステムがあり緊急時の連絡体制が整えられています	○	応急手当の勉強会を定期的に行うようにしたいと思っています
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に最低1回の防災訓練を行っている。その場合にも可能な限り、消防署また地区消防団、近隣の方の参加も得るようにし、ホームの内情を理解して頂くように努めています	○	地域の協力体制については運営推進会議で協力を呼びかけていきたいと思っています
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご本人の状態や動きに対するリスク、その対応策など、ご家族面会時に説明し、状況を把握、納得していただくようにしています		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状態を把握し、少しでも変化があればバイタルチェックをして情報を共有しています。状況により医療機関を受診し、早めの対応を心がけています		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルに整理し、スタッフが薬の内容を把握できるようにしています。服薬による変化やご本人の状態の変化による服薬の検討など記録に残し受診時の参考としています		服薬は必ずご本人に手渡し、きちんと服用できているか確認をしています
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材等の使用を心がけています。また、下剤を服用されている方については状況に応じて使用量や頻度を調整しています		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	ご本人の状況により見守りや介助にて歯みがきの支援をしています。就寝前には義歯洗浄を行い、保管するようにしています	○	毎食後のケアにはご本人の習慣等もあり、難しいところもあるが努力していきたいと思っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分(おやつ)はチェック表を作成し、確認できるようにしています		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ご入居者及びご家族の同意の上、インフルエンザの予防接種をスタッフ共に受けています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきんは毎食後、まな板は毎晩漂白しています。冷蔵庫内も定期的にチェックし食材の点検を行っています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門や玄関に季節の花を置いたり、玄関内に入居者の作品を飾るなどなごやかに明るい雰囲気になるようにしています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広いリビングでは音楽を楽しんだり、また食事作りの様子も見えるようになっており、その音や匂いなども感じてもらえるようにしています		冬には、こたつを使用したりして安心してくつろげる居場所づくりを工夫しています
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールやリビングの窓際などにもソファを設置し、仲のよいご入居者同士で会話をしたり、また一人で外を眺めたりできるスペースを作っています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや机、鏡台などの居室内持込や家族の写真を飾ったり本人が居心地よく過ごせるように配慮しています	○	壁飾りなどでもご本人の趣向を活かした居室作りができるよう更にご家族と協力して工夫していきたいです
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温調節は天候やご入居者の体調等も考慮し、こまめに行っています		トイレは常に換気をしており、また居室の換気も毎朝必ず行っています
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	調理台の高さはご入居者の使いやすい高さとなっています。入浴時のシャワーチェア形態をご入居者によって使い分けたり、ベッド柵の一部を介助カバーにし、起立・移動しやすいように配慮しています		歩行が不安定となられたご入居者の方には、居室内に使用していたカーペットを外したり、またすべり止めマットを使用したり転倒につながらないよう配慮しています
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	目で見てわかりやすいように場所を表示したり、排泄の場所と間違われやすいと思われる場所にはカバーをしたり、花を置くなどしてスタッフ全員で考え工夫しています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	デッキで日光浴したり、その前方には花壇と畑があり季節の花など楽しんでいただいています。庭を散歩したり、行事を行ったりと利用しています		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご入居者の方の安心・安全を提供できるよう努力しています。ご入居者の笑顔あふれるホーム”笑顔の里づくり”を目標としています。

認知症高齢者の方たちへの基本的な関わり方として欠かせないものは、心と心の触れ合いだと考えます。そのことを一番大切にするためにも、全職員基本にもどる・原点に返すという意識の中で、まずは全ての方への礼儀・礼節・挨拶・適切な言葉遣い・笑顔を絶やさず職員作りに力を入れています。